

台東区立台桜幼稚園 東京すくわくプログラム活動報告

2026 年3 月



活動のテーマと設定理由

① 伝統文化・音

本園の5歳児は、地域の方に獅子舞を教えていただき、獅子舞で流れる『お囃子』に興味をもっています。そこで、獅子舞をきっかけに、日本の伝統文化やそれらに関連する音をテーマにしました。また、手作り楽器から、小学生の使用する楽器など楽器への関心へと関心が広がっています。



活動のテーマと設定理由

② 言葉・多文化理解

本園には、外国籍のお友達も在籍しています。
また、園の周囲は観光の方が多く来る地域で、外国からの観光の方もたくさんいます。日常的に外国の方を見かけたり、日本語以外の言葉を聴く機会が多いことから、日本以外の文化や言葉に親しみを感じてほしいと考え、本テーマを設定しました。



①伝統文化・音の取り組み

（１）活動スケジュール

- 4月より地域の方に獅子舞を教えていただく。
- 地域の老人ホームやお祭りで披露する。
- 手作り楽器や和楽器、小学生が使っている楽器に触れる。
- 劇遊びの中で楽器を使う。

（２）活動のために準備した素材や道具、環境設定

- 和楽器（平太鼓、当たり鐘など）、手作り楽器の材料（空き缶、空き箱、風船など）
- 獅子舞の写真。



獅子舞の
練習しよう！

取り組みの様子

～劇遊びの効果音～



～自分から獅子舞に取り組んでいる様子～



この音が
似合いそうだね

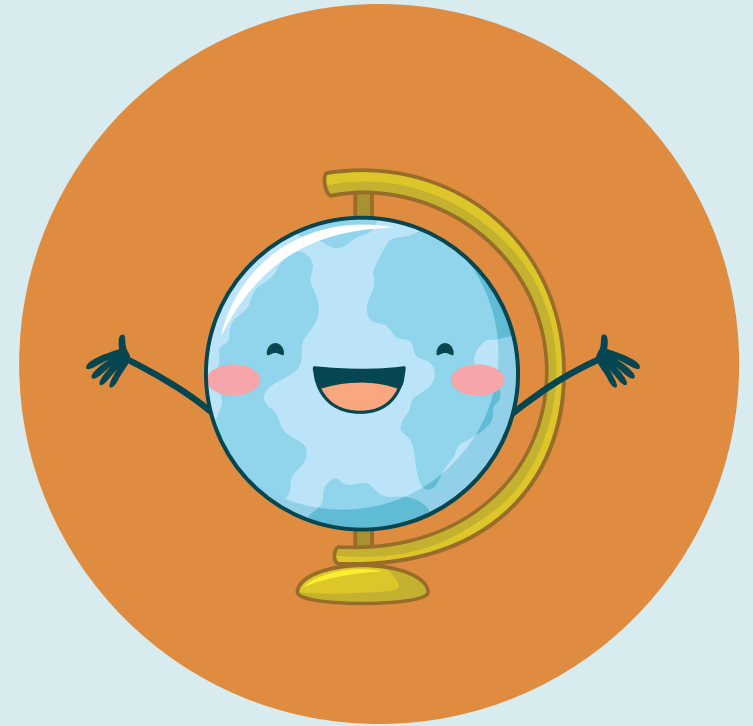
②言葉・多文化理解の取り組み

(1) 活動スケジュール

- 4月～2月、地域協力者の英会話講師による『英語で遊ぼう』を行う。
- 併設小学校の音楽会を参観し、いろいろな楽器に触れる。
- 劇遊びの中で、場面に似合う音を探す。
- オリンピックを見ていろいろな国があることを知る。

(2) 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- 英語の歌やダンス、絵本
- 世界地図を室内の壁に貼る
- 冬季オリンピックの写真



取り組みの様子

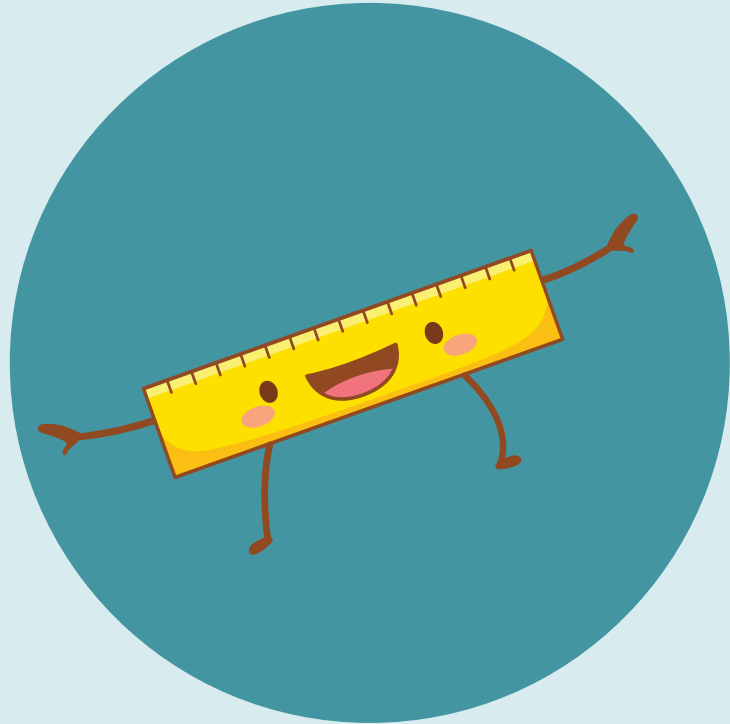
ABCの歌を歌おう！



Cheese Please
お店屋さんごっこ



振り返り



【伝統文化・音】

- 『日本音楽囃子文化研究会』の方の演奏を聴くことで、幼稚園にある楽器以外にもいろいろな和楽器があることが分かり、関心をもてた。
- 小学生の演奏を聴くことで、様々な楽器の形、音に興味をもつことができた。
- 様々な音に出会ったことで、劇遊びをする際に場面や登場人物に似合う音を探すためにいろいろな楽器や、自分で楽器を作って確かめる姿が見られた。
- 保護者や地域の方に獅子舞の取り組みや音探しの様子などを実際に見ていただきながら説明することで理解を得られた。

振り返り

【言葉・多文化理解】

- 同じ内容を繰り返すことで、英語の歌を覚えて口ずさみながら踊りを楽しむ姿が見られるようになった。
- 食べ物や動物などが出てくる絵本を題材として利用することで親しみをもって取り組み、楽しむことができた。
- 冬季オリンピックの新聞写真を保育室に掲示し、話題にすることで、いろいろな国の名前に関心をもつようになった。
- 世界地図や地球儀、国旗があることで国の場所にも関心をもつようになった。

